

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」 第3期実行計画 平成24年度実施結果について

- 資料 1 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」
第3期実行計画 平成24年度実施結果について
- 資料 2 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」
第3期実行計画 平成24年度実施結果について（総合企画局）
- 参考資料1 川崎臨海部 全体図
- 参考資料2 キング スカイフロント（研究機関等の立地状況）
- 別冊資料
- ・新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」
第3期実行計画 平成24年度実施結果
 - ・新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」
第3期実行計画 平成24年度実施結果
別冊1（施策進行管理・評価票）
 - ・新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」
第3期実行計画 平成24年度実施結果
別冊2（施策進行管理・評価票）

平成25年8月28日

総合企画局

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」 第3期実行計画 平成24年度実施結果について

1 趣旨

第3期実行計画の2年度目にあたる平成24年度の取組について、計画全体の推進を先導する9つの重点戦略プランの達成状況と、事務事業の点検結果や施策評価の結果を取りまとめるとともに、「川崎市政策評価委員会」からの改善意見等を取りまとめました。

2 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画 平成24年度実施結果（概要）

第1章 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」の取組

1 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」の役割と構成 <本編（3頁）>

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」（以下「新総合計画」という。）は、市政運営の基本方針として、平成17年3月に策定したもので、基本構想と実行計画の2層で構成されています。その中で、特に重点的・戦略的に取り組むことにより大きな施策効果の達成を目指し、新総合計画全体を先導していく施策などを重点戦略プランとして取りまとめています。

2 新総合計画の進行管理と評価 <本編（4頁）>

重点戦略プランについては、1年間で2期に分けてそれぞれの事業の進捗状況を把握するとともに情報共有を図り、計画の目標達成に向けて具体的な取組が推進されているかどうかを確認しています。

また、実行計画全体については、PDCAのしくみである「川崎再生ACTIONシステム（事務事業総点検・施策評価）」により、効果的な施策執行と課題解決を図り、新総合計画の進行管理を行うこととしています。

3 第3期実行計画 平成24年度の実施結果 <本編（5頁）>

平成24年度については、計画策定後に生じた様々な社会経済環境の変化に対応するため、必要に応じて計画の見直しを行い、課題の解決に向けた取組を推進しました。その結果、「重点戦略プラン別の実施結果」、「事務事業の達成状況」及び「施策評価結果」は、概ね計画どおり達成・進捗しました。

第2章 重点戦略プランの取組

1 重点戦略プラン全体の実施結果 <本編（13頁）>

第3期実行計画の重点戦略プランに位置付けられている108の施策計画のうち、計画策定当初の目標を変更することなく推進している施策計画が83あり、この中で6の施策計画（5.5%）が目標を下回りましたが、77の施策計画（71.3%）が目標を上回って達成または目標をほぼ達成し、全体としては順調に進捗することができました。

一方、東日本大震災など、施策を取り巻く環境の変化等に対応するため、計画期間中に計画策定時の目標を変更した25の施策計画（23.2%）のうち、2の施策計画（1.9%）が目標を下回りましたが、23の施策計画（21.3%）が目標をほぼ達成しました。

また、目標を変更したものを含めた平成24年度時点の目標に対し、目標を上回って達成または目標をほぼ達成したものは、108の施策計画のうち100（92.6%）ありました。

※（ ）内の％は、108の施策計画に対する割合で算出しています。

達成状況区分	内 容	施策計画数	構成比(%)
1	目標を大きく上回って達成	0	—
2	目標を上回って達成	1	0.9
3	目標をほぼ達成	76	70.4
4	目標を下回った	6	5.5
5	目標を大きく下回った	0	—
小 計		83	76.8
3*	変更後の目標をほぼ達成	23	21.3
4*	変更後の目標を下回った	2	1.9
小 計		25	23.2
合 計		108	100

77
(71.3%)

100
(92.6%)

参考：当初目標から変更した25の施策計画について、当初目標に対する達成状況を分析すると次のとおりです。

達成状況区分	内 容	変更後の 目標達成状況	構成比 (%)	当初目標に対する 目標達成状況	構成比 (%)
1	目標を大きく上回って達成	0	—	0	—
2	目標を上回って達成	0	—	0	—
3	目標をほぼ達成	23	92.0	16	64.0
4	目標を下回った	2	8.0	9	36.0
5	目標を大きく下回った	0	—	0	—
合 計		25	100	25	100

2 重点戦略プラン別の実施結果 <本編（16頁）>

9つのプラン別に、各施策計画の実施結果を取りまとめました。

プラン	掲載頁	
1	安全・安心な地域生活環境の整備	17～38
2	支え合いによる地域福祉社会づくり	39～50
3	総合的な子ども支援	51～74
4	環境配慮・循環型の地域社会づくり	75～86
5	憩いとうるおいの環境づくり	87～94
6	川崎の活力を生み出す産業イノベーション	95～116
7	都市拠点・ネットワークの整備と川崎臨海部の再生	117～135
8	川崎の魅力育て発信する取組	136～152
9	市民自治と区役所機能の拡充	153～160

3 重点戦略プランの計画事業費及び決算見込額 <本編（161頁）>

重点戦略プラン第3期実行計画 平成24年度の決算見込額総額は1,687億9,600万円、計画事業費総額1,841億600万円に対して153億1,000万円の減となりました。決算見込額が計画事業費に対して減となった主な理由は、対象事業費が見込みを下回ったこと及び対象事業の一部を繰り越したことによるものです。

第3章 事務事業・施策課題の取組及び川崎市政策評価委員会の検証結果

1 事務事業・施策課題の概要 <本編(169頁)>

新総合計画では、基本構想で示した7つの基本政策ごとに、施策課題の現状と課題を明らかにしています。また、施策課題の解決に向けて取り組む施策に対応する事務事業について、取組内容、現状及び計画期間内の目標を示しています。

各施策課題は、配下の事務事業の実施を通じて、課題を解決する施策が推進される関係にあることから、事務事業の達成状況の評価を行うとともに、その結果を踏まえて施策評価(課題解決に向けた施策の推進状況に対する評価)を行います。

2 事務事業の達成状況 <本編(170頁)>

新総合計画の基本政策に位置付けられている923の事務事業のうち、計画策定当初の目標を変更することなく推進しているのは846あり、この中で目標を下回ったものが13(1.4%)ありましたが、目標を(大きく)上回って達成または目標をほぼ達成したものが833(90.3%)あり、全体としては順調に進捗しました。

一方で、事務事業を取り巻く環境の変化に対応するため、計画策定当初の目標を変更した事務事業が61(6.6%)、計画策定後に新設した事務事業が16(1.7%)あり、これらを合わせた77(8.3%)のうち4(0.4%)が目標を下回りましたが、73(7.9%)が目標をほぼ達成しました。

また、目標を変更し、及び新設したものを含めた平成24年度時点の目標に対し、(大きく)上回って達成またはほぼ達成したもの(達成状況区分1~3及び3*)は、923事務事業のうち906(98.2%)ありました。

達成状況区分	内 容	事務事業数 (新設した事務事業の内数)	構成比(%) (新設した事務事業の構成比)
1	目標を大きく上回って達成	2	0.2
2	目標を上回って達成	14	1.5
3	目標をほぼ達成	817	88.6
4	目標を下回った	13	1.4
5	目標を大きく下回った	0	-
小 計		846	91.7
3*	変更後の目標をほぼ達成(新設したものを含む。)	73(16)	7.9(1.7)
4*	変更後の目標を下回った(新設したものを含む。)	4(0)	0.4(-)
小 計		77(16)	8.3(1.7)
合 計		923	100

(注) 達成状況区分に「*」が付いているものは、計画期間中に目標を変更または事務事業の新設により、計画策定当初の「平成24年度目標」とは異なる目標に対するものとなります。

参考: 当初目標から変更した61の事務事業について、当初目標に対する達成状況を分析すると次のとおりです。

達成状況区分	内 容	変更後の 目標達成状況	構成比 (%)	当初目標に対する 目標達成状況	構成比 (%)
1	目標を大きく上回って達成	0	-	1	1.7
2	目標を上回って達成	0	-	3	4.9
3	目標をほぼ達成	57	93.4	39	63.9
4	目標を下回った	4	6.6	18	29.5
5	目標を大きく下回った	0	-	0	-
合 計		61	100	61	100

3 施策評価結果 <本編(172頁)>

第3期実行計画に位置付けられている261の施策課題について、平成24年度の施策評価を行った結果、施策が推進していないものではなく、すべての施策課題は、「施策の目標」の実現に向けて、施策が概ね順調に推進しました。

内訳としては、施策が順調に推進したものが246(94.3%)、そのうち新たな課題等がないものは49(18.8%)、新たな課題等があるが、今後も現在の取組の継続等により対応できるものは197(75.5%)ありました。一方、施策が一定程度推進したものの、新たな課題等があり、計画の見直し等が必要なものが15(5.7%)ありました。

評価区分	内 容	施策課題数	構成比(%)	
A	施策が順調に推進したもの	I ●「施策の目標」の実現を阻害するような新たな課題や残された課題等はなく、「施策の目標」に向かって順調に進捗している場合	49	18.8
		II ●新たな課題や残された課題等があるが、「施策の目標」の実現を阻害するようなものではなく、今後も現在の取組の継続又は一部改善により対応できる場合	197	75.5
B	施策が一定程度推進したもの ●新たな課題や残された課題等があり、「施策の目標」の実現に向けて、計画の見直しや取組の改善が必要な場合 ●施策課題の配下の主要な事務事業で、新たな課題等があり目標を下回るなどにより、課題解決が一定程度に留まり取組の見直しが必要な場合	15	5.7	
C	施策が推進していないもの ●前提としていた諸条件(法制度等)が大きく変化し、取組内容の抜本的な見直しを行わなければ、「施策の目標」の実現が困難な場合 ●施策課題を構成する主要な事務事業が、新たな課題の出現により大幅に遅れ、または、対応困難なものとなるなど目標を大きく下回ることとなり、施策課題の解決に向け停滞している場合	0	-	
合 計		261	100	

246
(94.3%)

4 東日本大震災を踏まえた取組 <本編(174頁)>

東日本大震災の発生による、第3期実行計画の事業目標実現への影響や新たな課題の発生に対処するため、平成24年度には、計画に位置付けられた事務事業の目標変更等により様々な取組を行いました。

5 施策評価に対する川崎市政策評価委員会の検証結果<本編(177頁)>

全体としては、「施策進行管理・評価票」の記載内容について、新総合計画の適切な進行管理や市民への説明責任を果たしていくという目的に向かって、概ね適正な取組が行われていると認められました。

一方、「施策進行管理・評価票」の記載内容について、分かりやすい記述に改める必要があると思われる事例も一部に見られましたので、改善意見等をいただくとともに、今後の取組の方向性が示されました。

(意見1) 分かりやすい評価票の作成に向けたノウハウの関係部署での共有・活用、段階的な確認の着実な実施等による、評価内容の組織的なチェック力の向上

(意見2) 評価区分の決定理由について、評価票の中で適切な記載を行うことによる、説明の分かりやすさの向上

(意見3) PDCAサイクルをより一層有効なものとしていくための目標・指標の明確化等の更なる推進

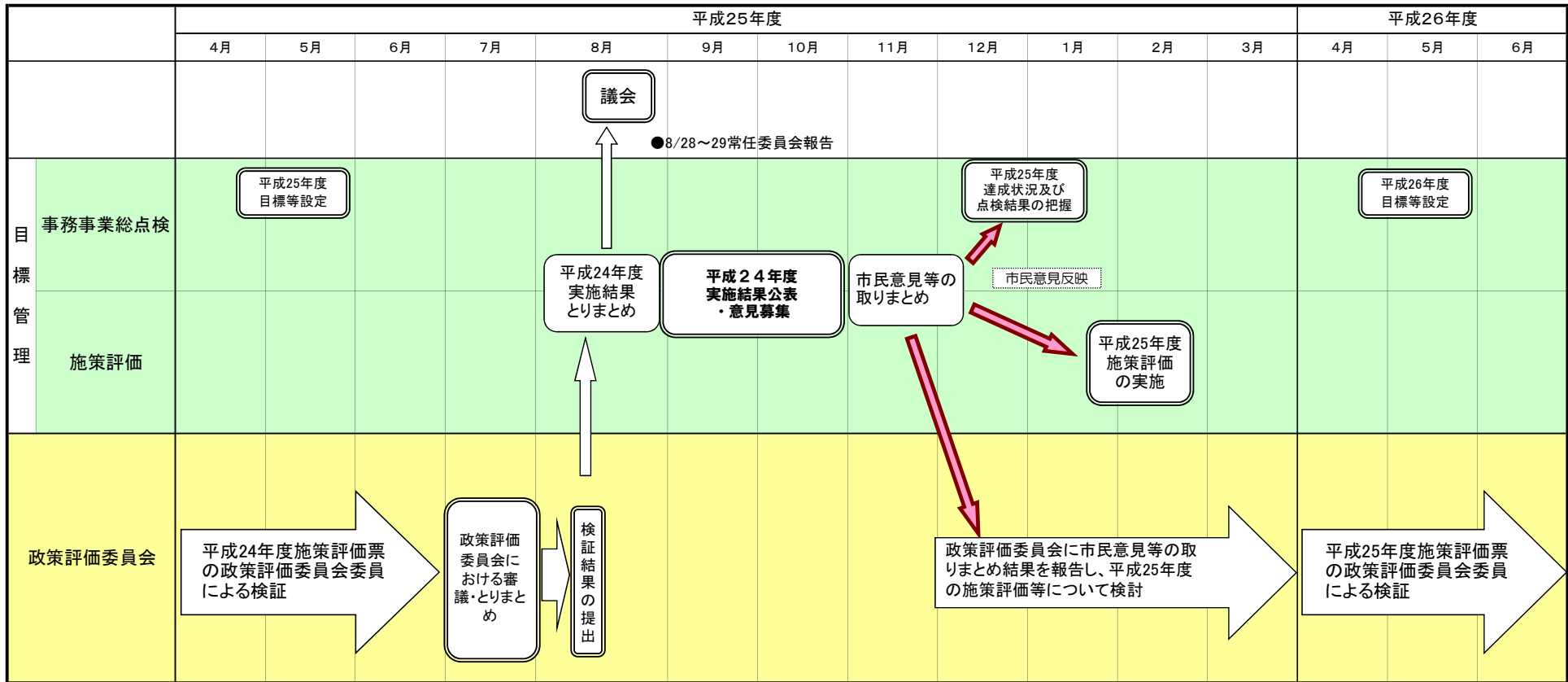
(意見4) 評価結果について市民の理解を得るとともに、市民にいただいた意見を市の施策等に反映していくための、その公表方法を工夫するなどの市民への着実な広報の実現

3 公表スケジュール及び市民意見の募集について

1 公表及び市民意見募集の予定について

- (1) 議会(各常任委員会)報告 平成25年8月28日(水)・29日(木)
- (2) 報道発表 平成25年8月28日(水)
- (3) 本市ホームページに掲載 平成25年8月29日(木)
- (4) 区役所、情報プラザ等での閲覧 平成25年8月29日(木)
- (5) 市政だよりに掲載 平成25年9月1日号
- (6) 意見募集期間 平成25年8月29日(木)から10月31日(木)まで

2 公表の全体スケジュールについて



新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画 平成24年度実施結果について（総合企画局）

1 趣旨

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画の平成24年度実施結果として、総合企画局の施策評価結果を取りまとめました。

2 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画 平成24年度実施結果（概要）

1 政策体系に位置付けられた施策課題の実施結果

第3期実行計画に位置付けられている242の施策課題（再掲を除く。）のうち、総合企画局が所管する施策課題は8課題あり、それらについて平成24年度の施策評価を行った結果、どの施策課題も、「施策の目標」の実現に向け、施策は概ね順調に推進したという評価となりました。

内訳としては、施策が順調に推進したものが5課題、そのうち新たな課題等がないものは2課題、新たな課題等があるが今後も現在の取組の継続等により対応できるものは3課題ありました。一方、施策が一定程度推進したものの、新たな課題等があり、計画の見直し等が必要なものが3課題ありました。

表 達成状況区別別 施策課題数と構成比（総合企画局）

評価区分	内 容		施策課題数	構成比(%)
A	【施策が順調に推進したもの】	I ●「施策の目標」の実現を阻害するような新たな課題や残された課題等はなく、「施策の目標」に向かって順調に進捗している場合	2	25.0
		II ●新たな課題や残された課題等があるが、「施策の目標」の実現を阻害するようなものではなく、今後も現在の取組の継続又は一部改善により対応できる場合	3	37.5
B	【施策が一定程度推進したもの】 ●新たな課題や残された課題等があり、「施策の目標」の実現に向けて、計画の見直しや取組の改善が必要な場合 ●施策課題の配下の主要な事務事業で、新たな課題等があり目標を下回るなどにより、課題解決が一定程度に留まり取組の見直しが必要な場合		3	37.5
C	【施策が推進していないもの】 ●前提としていた諸条件（法制度等）が大きく変化し、取組内容の抜本的な見直しを行わなければ、「施策の目標」の実現が困難な場合 ●施策課題を構成する主要な事務事業が、新たな課題の出現により大幅に遅れ、または、対応困難なものとなるなど目標を大きく下回ることとなり、施策課題の解決に向け停滞している場合		0	—
合 計			8	100

5
(62.5%)

2 施策の実施結果について

- (1) 【シニア世代が地域社会で能力を発揮するための支援】 <別冊1：(226頁)> **施策評価結果：A II**
- (2) 【大学などの高等教育機関との連携の推進】・・・ <別冊1：(228頁)> **施策評価結果：A I**
- (3) 【臨海部の戦略的マネジメント】・・・ <別冊2：(92頁)> **施策評価結果：A II**
- (4) 【川崎殿町・大師河原地域の拠点整備】・・・ <別冊2：(94頁)> **施策評価結果：A II**
- (5) 【浜川駅周辺地域の拠点整備】・・・ <別冊2：(96頁)> **施策評価結果：B**
- (6) 【羽田空港再拡張・国際化に対応した基盤づくりの推進】 <別冊2：(102頁)> **施策評価結果：B**
- (7) 【自治基本条例に基づく自治の推進】・・・ <別冊2：(184頁)> **施策評価結果：A I**
- (8) 【分権改革の推進】・・・ <別冊2：(186頁)> **施策評価結果：B**

川崎臨海部 全体図



キング スカイフロント（研究機関等の立地状況）

